

7/

1日(土)・2日(日)・8日(土)・9日(日)・

15日(土)～17日(月)・21日(金)～31日(月)

日没から午後9時30分まで(晴天時のみ)

星空通信



2023年7月号

- 1日 水星(内惑星)が外合/海王星が留
- 3日 満月
- 7日 金星が最大光度
- 10日 下弦
- 18日 新月
- 21日 金星が留
- 26日 上弦
- 31日 みずがめ座デルタ流星群が極大

☆用語解説☆

さいだいこうど
最大光度…もっとも光度が強い方向の一点の光度

りゅう
留…赤経方向の動きが止まる瞬間

がいごう
外合…地球、太陽、惑星が一直線に並び、内惑星が太陽の向こう側にあること。

今月の惑星情報

水星

1日に外合、以後は日の入り後の北西から西の低空に位置。見かけの位置が太陽に近く、観察は難しいでしょう。

金星

日の入り後の西の低空に見え、7日に最大光度になる。明るさは月初から20日すぎまで-4.7等を保ち、月末には-4.4等。

火星

しし座を東に移動。宵の西の低空に位置し、明るさは1.7等。

木星

おひつじ座を東に移動。日の出前の東から南東の空に見え、明るさは-2.2等～-2.4等。

土星

みずがめ座を西に移動しています。真夜中の南東の空に見え、明るさは0.7等～0.6等。



かに座



ギリシア神話の中では、カニは勇士ヘラクレスが巨大な怪獣ヒドラを退治している時、ヘラクレスを嫌う女神ヘーラが送った大きな化けカニと伝えられています。残念ながらカニがヘラクレスの脚を挟もうとすると、怪力ヘラクレスにあっさりと踏みつぶされてしまいます。この姿を哀れんだ女神が、天に上げて星座にしたという話です。

